

# 交付運用報告書

## スーパーファンド・ジャパン サブファンド・レッド

ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て、米ドル建て）  
作成対象期間（第12期）：自 2020年1月1日 至 2020年12月31日

### ～ 受益者の皆様へ ～

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当サブファンドは、オーストリア・ウィーンにて創立されたスーパーファンドグループの、外国籍公募投資信託です。

ケイマン諸島における分別ポートフォリオを運用する適用免除有限責任会社として登録され、投資会社としてのみ活動するマスターファンドへの投資を通じて、証券市場の動静から独立した投資形態を投資家の皆様に提供するために設立されました。スーパーファンドの投資顧問会社であるスーパーファンド・アセット・マネジメント GmbH による、トレーディング・ソフトウェアを使用した最新の取引システムに基づき、マスターファンドは運用されます。

ここに、当サブファンドの第12期の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

	第 12 期 末					
	円・クラス	ゴールド 円・クラス	シルバー 円・クラス	米ドル・クラス	ゴールド 米ドル・クラス	シルバー 米ドル・クラス
1口当たり純資産価額	89.3884円	98.2600円	75.8240円	0.8438米ドル	0.9275米ドル	0.7157米ドル
純資産総額	133百万円	191百万円	132百万円	19万米ドル	52万米ドル	324万米ドル
第 12 期						
騰 落 率	-12.90%	+3.07%	+21.21%	-8.38%	+8.42%	+27.51%
1口当たり分配金額	0円	0円	0円	0米ドル	0米ドル	0米ドル

(注1) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、当期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書（全体版）に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注2) 騰落率は、税引前の分配金（もしあれば）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注3) 1口当たり分配金額（もしあれば）は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

### その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会のウェブサイト (<http://www.superfund.co.jp>) にて電磁的方法により提供しており、「資料ダウンロード」において閲覧及びダウンロードすることができます。

※ 当サブファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【管理会社】

【代行協会】

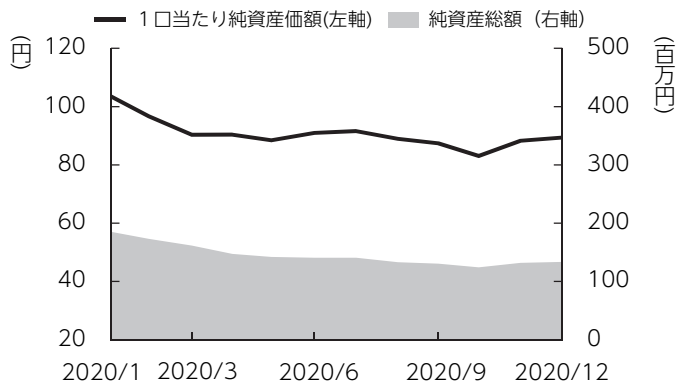
スーパーファンド・ジャパン・  
トレーディング（ケイマン）リミテッド

スーパーファンド・ジャパン株式会社

# 運用経過

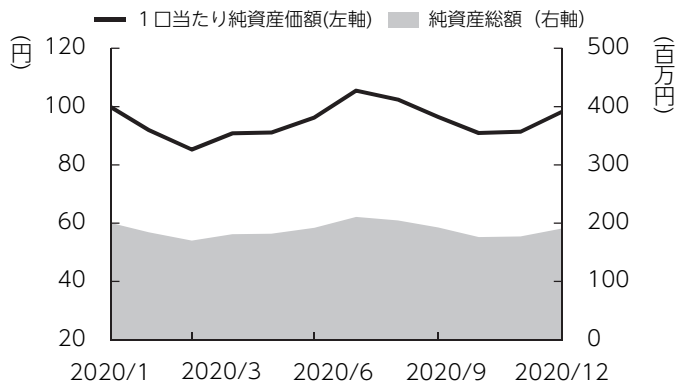
## ■ 当期の1口当たり純資産価額等の推移について (2020年1月1日～2020年12月31日)

### 円・クラス



第 11 期 末 の 1口当たり純資産価額	102.6311円
第 12 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	89.3884円
騰 落 率	-12.90%

### ゴールド円・クラス



第 11 期 末 の 1口当たり純資産価額	95.3368円
第 12 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	98.2600円
騰 落 率	+3.07%

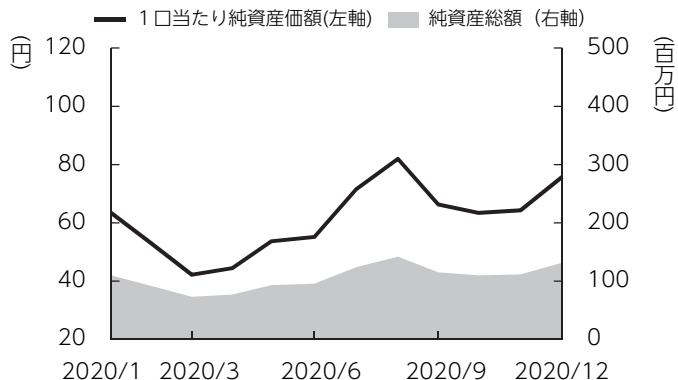
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 1口当たり純資産価額は、第11期末の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

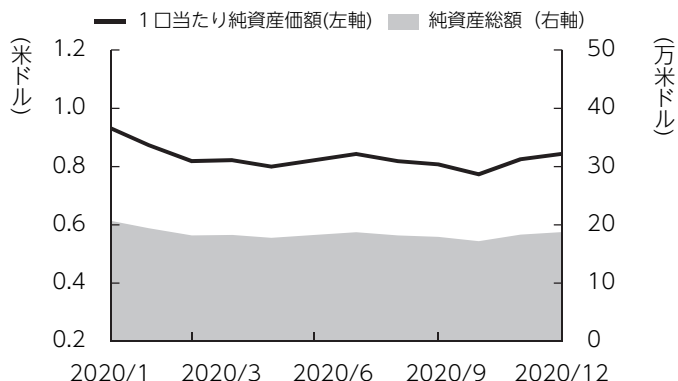
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

## シルバー円・クラス



第 11 期 末 の 1口当たり純資産価額	62.5566円
第 12 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0円)	75.8240円
騰 落 率	+21.21%

## 米ドル・クラス



第 11 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.9210米ドル
第 12 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル)	0.8438米ドル
騰 落 率	-8.38%

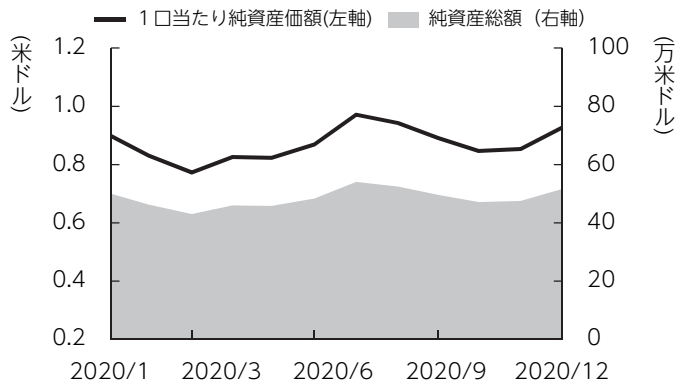
(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 1口当たり純資産価額は、第11期末の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

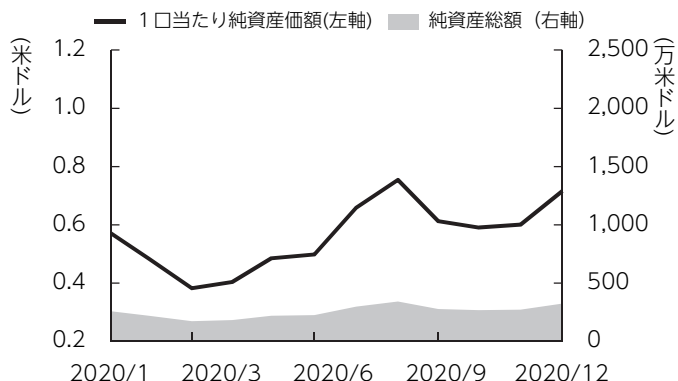
(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

## ゴールド米ドル・クラス



第 11 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.8555米ドル
第 12 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル)	0.9275米ドル
騰 落 率	+8.42%

## シルバー米ドル・クラス



第 11 期 末 の 1口当たり純資産価額	0.5613米ドル
第 12 期 末 の 1口当たり純資産価額 (分配金0米ドル)	0.7157米ドル
騰 落 率	+27.51%

(注1) 当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 1口当たり純資産価額は、第11期末の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。

(注3) サブファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) サブファンドにベンチマークは設定されておりません。

## ■ 1口当たり純資産価額の主な変動要因

### 【円・クラス、米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における、当サブファンドが採用する複数のテクニカル分析ソフトウェアによるトレーディングシグナルにより運用されます。順張り、逆張り、予測モデルなどのシグナルにより短期の取引を繰り返し、多くの投資を行います。それらの集計により、キャピタルゲインを確保します。一方、上昇又は下降トレンドに追従した後、市場価格のトレンドが変換することによりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

### 【ゴールド円・クラス、ゴールド米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における、当サブファンドが採用する複数のテクニカル分析ソフトウェアによるトレーディングシグナルにより運用されます。順張り、逆張り、予測モデルなどのシグナルにより短期の取引を繰り返し、多くの投資を行います。それらの集計により、キャピタルゲインを確保します。加えて、金価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

### 【シルバー円・クラス、シルバー米ドル・クラス】

実質的に投資している金融先物市場・商品先物市場における、当サブファンドが採用する複数のテクニカル分析ソフトウェアによるトレーディングシグナルにより運用されます。順張り、逆張り、予測モデルなどのシグナルにより短期の取引を繰り返し、多くの投資を行います。それらの集計により、キャピタルゲインを確保します。加えて、銀価格の上昇によりキャピタルゲインが生まれ、下落によりキャピタルロスが生まれます。さらに、円建てクラスは、為替が円安に変動することでキャピタルゲインが生まれ、円高に変動することでキャピタルロスが生まれます。

## ■ 費用の明細 (2020年1月1日～2020年12月31日)

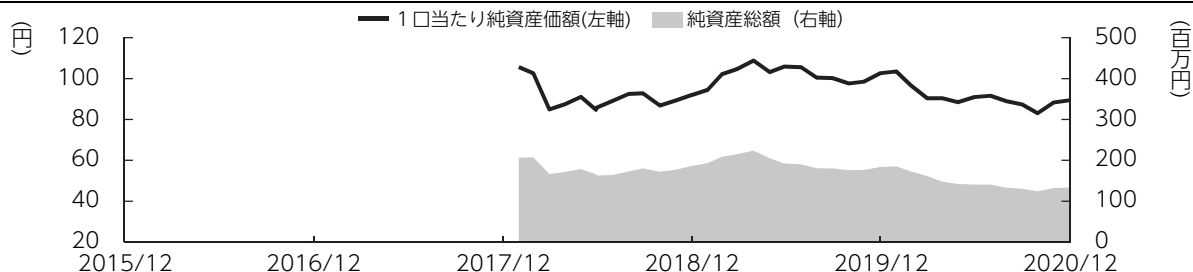
項目		比率又は金額	項目の概要	
管	理 報 酬	当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	受託会社、事務管理会社及びカस्टディアンその他の者との間のやりとり、当サブファンドの活動に関連する契約の管理、申込み及び償還を含む投資活動の運用管理の対価	
代	行 協 会 員 報 酬	当サブファンドの純資産価額の年率0.10%	日本の法令及び日本証券業協会の規則に従い、受益者への目論見書や財務書類を送付し、純資産価額を公表する等の業務に対する報酬	
受	託 会 社 報 酬	当サブファンドにつき年間8,500米ドル	信託証書に従って行う当サブファンドの受託業務に対する報酬	
事	務	当サブファンドの事務管理及び振替代行報酬	各評価日における純資産価額の計算、受益権者名簿の管理、締結された申込みに係る契約及び申込みの受領並びに処理、電磁的方法による受益証券の発行証明及び保有報告書の作成並びに送付などの役務の対価	
	務	年次報告書及び監査手配報酬		当サブファンドにつき年間9,793米ドル
	管	主たる事務所の提供報酬		当サブファンドにつき年間400米ドル
		「スーパーファンド・ジャパン」につき年間6,000米ドル	当サブファンドの主たる事務所を提供することの対価。事務管理会社の関連会社に支払われる。	
その他の費用（当期）		0.59%	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用	

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額を当サブファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) 各項目の費用は、サブファンドが組み入れている投資先ファンドの費用を含みません。

## ■ 最近5年間の1口当たり純資産価額等の推移について (2015年12月31日～2020年12月31日)

### 円・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	105.6533	92.0331	102.6311	89.3884
1口当たり分配金額(円)	-	0	0	0
騰落率(%)	-	△12.89	+11.52	-12.90
純資産総額(百万円)	206	186	184	133

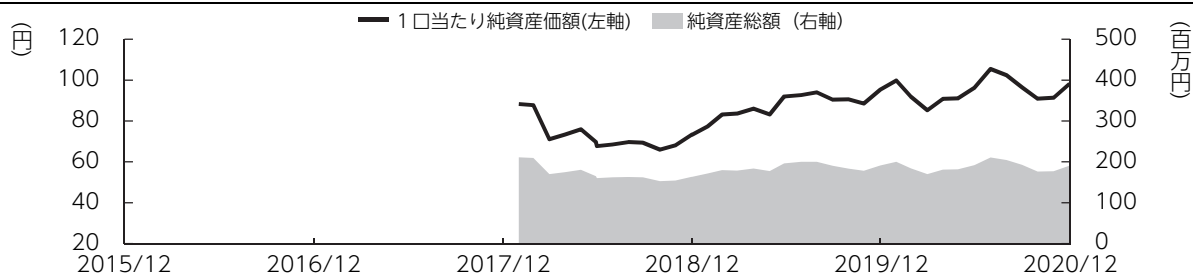
(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。

### ゴールド円・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	88.3203	73.2756	95.3368	98.2600
1口当たり分配金額(円)	-	0	0	0
騰落率(%)	-	△17.03	+30.11	+3.07
純資産総額(百万円)	211	163	191	191

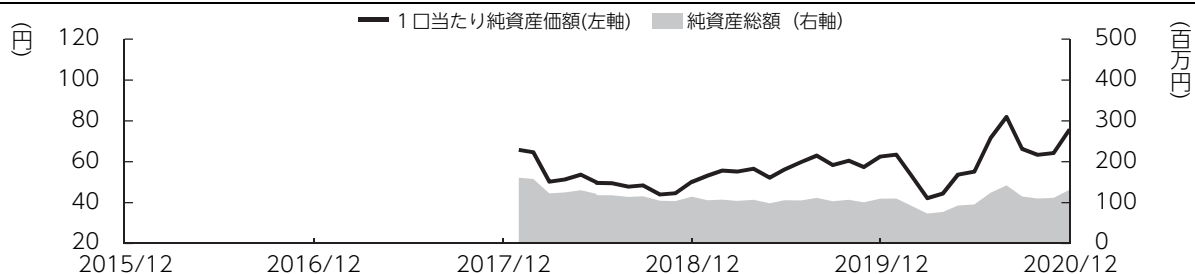
(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。

## シルバー円・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	65.8661	50.1816	62.5566	75.8240
1口当たり分配金額(円)	—	0	0	0
騰落率(%)	—	△23.81	+24.66	+21.21
純資産総額(百万円)	161	114	110	132

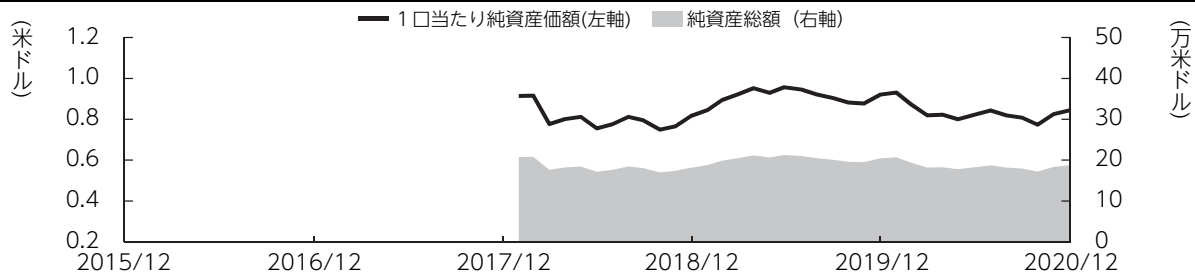
(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。

## 米ドル・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	0.9138	0.8178	0.9210	0.8438
1口当たり分配金額(円)	—	0	0	0
騰落率(%)	—	△10.51	+12.62	-8.38
純資産総額(百万円)	21	18	20	19

(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

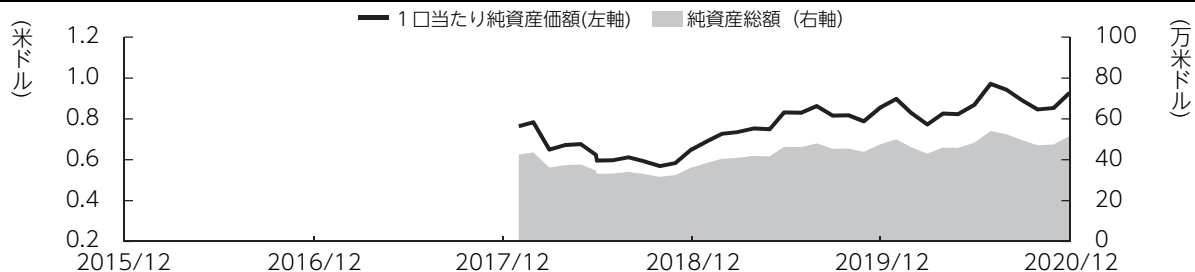
(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。



## ゴールド米ドル・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	0.7638	0.6510	0.8555	0.9275
1口当たり分配金額(円)	—	0	0	0
騰落率(%)	—	△14.77	+31.41	+8.42
純資産総額(百万円)	43	36	48	52

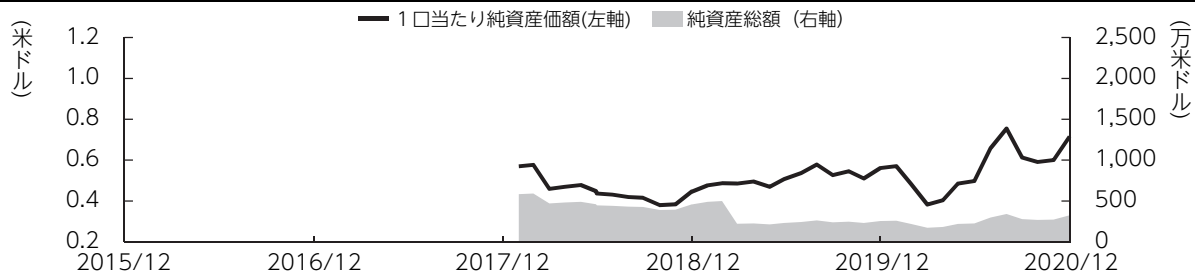
(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。

## シルバー米ドル・クラス



	サブファンド設定時 2018年1月1日	第10期末 2018年12月31日	第11期末 2019年12月31日	第12期末 2020年12月31日
1口当たり純資産価額(円)	0.5696	0.4458	0.5613	0.7157
1口当たり分配金額(円)	—	0	0	0
騰落率(%)	—	△21.73	+25.91	+27.51
純資産総額(百万円)	584	457	254	324

(注1) 1口当たり純資産価額は、設定時の1口当たり純資産価額を起点として計算しています。なお、当サブファンドについては分配金の分配を行っていないため、上表では1口当たり純資産価額のみを記載しています。

(注2) 純資産総額は、1口当たり純資産価額に、各期末の発行済口数を乗じ、小数点第1位を四捨五入して計算された値を記載しており、運用報告書(全体版)に記載されているファンドの財務書類における数値と一致しない場合があります。

(注3) サブファンドにベンチマーク及び参考指数は設定されていません。

(注4) 当サブファンドは2018年1月より運用が開始されたため、2017年12月以前の情報がありません。

## ■ 投資環境について

2020年は、急速に拡散する新型コロナウイルスの出現によって、現代史上最も激動した年の1つとなりました。このCOVID-19ウイルスは、それまでに知られていたどの呼吸器系ウイルスよりも感染力と致死率が高く、2020年3月には感染拡大を抑えるために企業や集会所が閉鎖されました。世界の主要な株価指数や原油価格が暴落し、世界のGDPは大きく低下、そして何百万人もの人々が仕事にあぐらしました。しかしながら2020年は、人々、組織、及び金融市場の根強い回復力を証明するものとなりました。政府や中央銀行が個人や企業に必要な金融支援を行ったことで、経済の回復を待たず金融市場が先行する形でリバウンドしました。年末には、このウイルスに対抗する適切なワクチンが開発され、希望する国民全員にいきわたるよう接種計画が立てられました。

株式市場は一旦は弱気相場に入ったものの、各国の中央銀行が市場を安定させるために迅速かつ広範な行動をとったことで、急速に回復しました。米国の株価指数は、S&P500指数が年間約15%のリターン、NASDAQコンポジット指数は40%を超える驚異的なリターンを記録して、1年を終えました。欧州の株価も回復しましたが、その結果はまちまちで、英国はブレグジットとパンデミックのワンツーパンチを受け、FTSE100指数は13%下落しました。アジア市場は、中国が他の先進国よりも速いペースで正常な状態に戻ることができたため、強い上昇を示しました。

メディアでは株式市場の乱高下に注目が集まっていますが、債券市場も2008年の大不況以来のボラティリティーの高まりを経験しました。米国では、ソブリン債の安全性と分散投資を求める投資家が国債価格を上昇させ、利回りは歴史的な低水準に達しました。FRBは景気減速を防ぐため、3月初旬に連邦資金金利を1.50%から1.25%に引き下げ、さらに3月中旬にはゼロ金利に近い水準まで引き下げました。一方、欧州では、ECB（欧州中央銀行）が景気回復のために国債を異例の速さで購入したことで、債券市場は活発な動きを見せました。米国の長期国債である30年物国債は10%と米国債の中で最も高いパフォーマンスを示し、欧州ではドイツ連邦債が3%強と欧州債の中で最も高いパフォーマンスを示しました。

2020年は、ほとんどのコモディティにとって強気の時期となりました。というのも、需要の混乱は、各商品が運輸・旅行部門にどのように関わっているかによって大きく左右されたからです。原油の需要が減少したことに加え、市場では大量の供給過剰が発生し、約18年ぶりの安値を記録しました。その後の供給削減により、一時的に上昇しましたが、遅すぎました。アルミは中国の自動車市場の急成長により、銅は電力網や再生可能エネルギーへの投資拡大により、それぞれ上昇しました。金は8月に1オンス2,070米ドルの史上最高値を記録しました。銀は、投資家がより大きなアップサイドを持つ信頼できる投資先を求めたため、年末には45%以上の高いパフォーマンスを記録しました。農産物市場では、パンデミックによる供給懸念や貿易戦争の継続、ドル安などを受けて上昇しました。

## ■ ポートフォリオについて

< 当サブファンド >

当サブファンドは、マスターファンドへの投資によって当該マスターファンドと同一の投資目的を追求しました。結果、マスターファンドへの投資比率は、概ね95%以上を維持しました。

< マスターファンド >

マスターファンドは、主に世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引等に投資しました。複数の短期のトレーディングシステムによるマネージドフューチャーズにより、下記4つのセクターに分散投資しました。

【株式指数】 【債券】 【通貨】 【コモディティ】

当ファンドが採用するマネージドフューチャーズ戦略は、約60の様々な指数のトレンドを分析し短期トレーディングを行う戦略です。2020年においてはまず、3月のコロナショックによるトレンドの変調によりパフォーマンスは大きく棄損しました。その後は一進一退の状態が続き一年を終えております。

金価格は、前年から続く上昇基調が夏場の2,000米ドルまで継続し、年半ばから調整局面を迎えましたが、年末には1,900米ドル前後まで回復しました。また年初18米ドル前後であった銀価格においては、3月のコロナショック時に12米ドル割れまで下落しましたが、8月には29米ドル台まで上昇し、その後26米ドル前後にて年末を迎えております。

## ■ ベンチマークとの差異について

当サブファンドにはベンチマーク及び参考指数はありません。

## ■ 分配金について

当サブファンドには分配金はありません。

# 今後の運用方針

当サブファンドの今後の運用方針については、これまでの投資方針が引き続き採用され、マスターファンドと同一の投資目的を追求する予定です。

## お知らせ

特にありません。

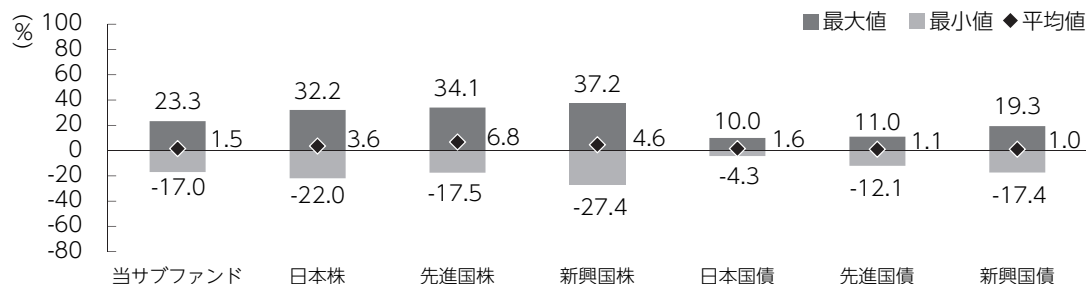
## 当サブファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍 オープンエンド契約型 外国投資信託（円建て、米ドル建て）	
信託期間	信託設定日は2009年6月5日、償還日は設定日から150年後	
運用方針	マスターファンドの投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルに基づいて運用されます。当サブファンドのマスターファンドは、投資機会及び最新の取引戦略を利用することを目的とするため、将来の投資の特性に関して事前決定された展望を持たず、一切の制限も受けません。マスターファンド投資顧問会社は、マスターファンドのサブファンドが、上場先物取引及び各種店頭デリバティブ（外国為替取引を含みます。）において過度の危険を冒さずにレバレッジ効果により高い収益が見込めると判断したときに、レバレッジを利用することができます。	
主要投資対象	当サブファンド	スーパーファンド・レッドワンSPCのサブファンドであるスーパーファンド・レッドワン分別ポートフォリオⅠの利益参加シェア
	マスターファンド	世界各国の取引所に上場されている様々な先物取引（株式指数、債券、通貨、コモディティ）への分散投資及び、これに加えて、ゴールドクラスは金先物、シルバークラスは銀先物
組入制限	当サブファンドの資産は管理会社により運用され、管理会社は当サブファンドの資産の最大100%をスーパーファンド・レッドワンSPC（マスターファンド）のサブファンドであるスーパーファンド・レッドワン分別ポートフォリオⅠの利益参加シェアに投資します。	
分配方針	現段階では分配を行う予定はありません。但し、管理会社はその裁量で分配を決定する権利を留保しています。	

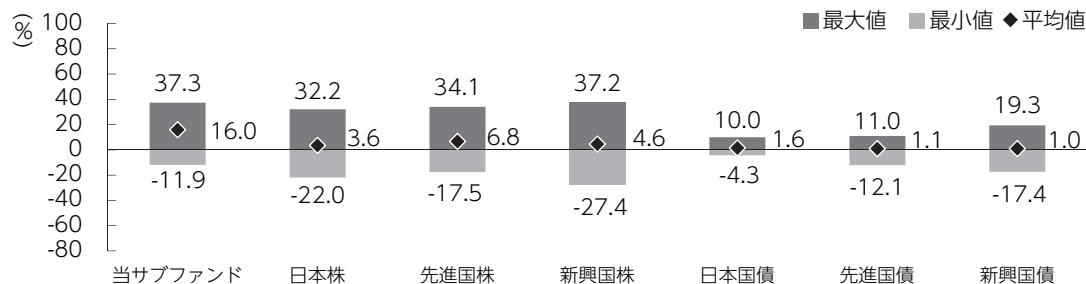
(参考情報)

## ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

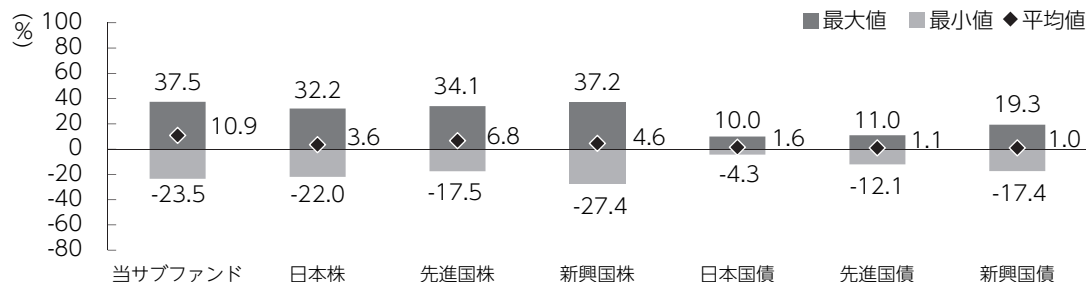
円・クラス



ゴールド円・クラス



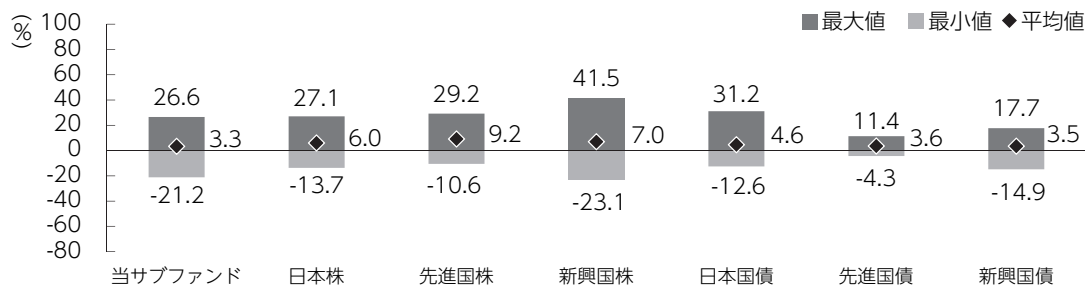
シルバー円・クラス



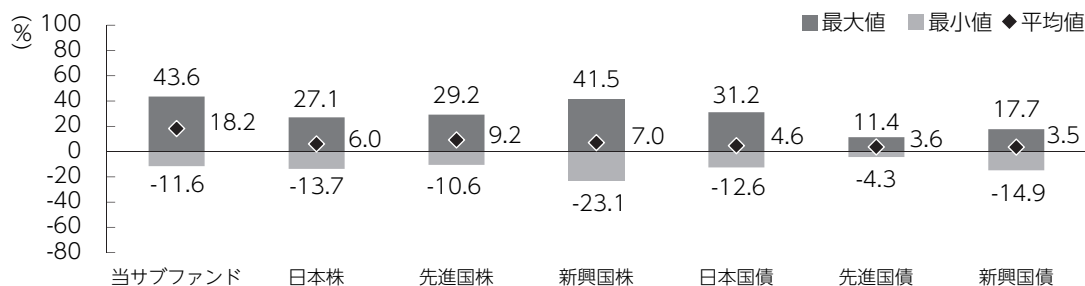
(注1) 全ての資産クラスが当サブファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年1月から2020年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

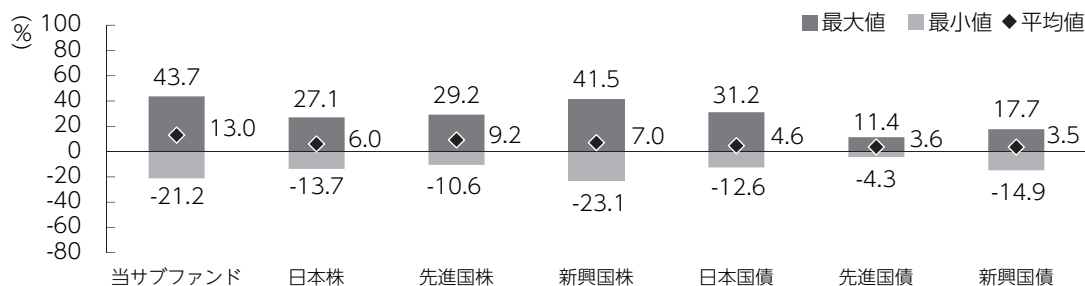
## 米ドル・クラス



## ゴールド米ドル・クラス



## シルバー米ドル・クラス



(注1) 全ての資産クラスが当サブファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2016年1月から2020年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値をファンド及びほかの代表的な資産クラスについて表示したものです。

## ○各資産クラスの指数

円・クラス、ゴールド円・クラス、シルバー円・クラス

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株・・・MSCI-KOKUSA I 指数 (配当込) (円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込) (円ベース)

日本国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (円ベース)

先進国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (円ベース)

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド

注記・備考

※新興国債の指数は、各月末時点の為替レートにより円換算しています。

米ドル・クラス、ゴールド米ドル・クラス、シルバー米ドル・クラス

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込)

先進国株・・・MSCI-KOKUSA I 指数 (配当込) (米ドルベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込) (米ドルベース)

日本国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (日本) (米ドルベース)

先進国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス (除く日本) (米ドルベース)

新興国債・・・JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (米ドルベース)

注記・備考

※日本株の指数は、各月末時点の為替レートにより米ドル換算しています。

# ファンドデータ

## ■ 当サブファンドの組入資産の内容 (2020年12月31日現在)

【組入ファンド】 (組入銘柄数：1 銘柄)

資産の種類	組入比率
スーパーファンド・レッドワンSPCの株式 (クラスジャパンの利益参加シェア) (以下「レッドワンSPCの株式」と表記)	99.50%
現金、受取債権及びその他の資産	0.50%

(注) 組入比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。以下円グラフも同様です。



(注1) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

(注2) 組入資産の内容は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

## ■ 純資産等 (2020年12月31日現在)

項目	第12期末
純資産総額	8,307,123米ドル (911,789,820円)
発行済口数	10,423,245口
1口当たり純資産価額	0.7970米ドル (87.4766円)

(注1) 純資産総額及び発行済口数は、当サブファンドの財務書類の記載によります。

(注2) 為替レート 1米ドル=109.76円 (2021年5月31日現在)

(注3) 当期中の追加元本額は8,529米ドル (936,143円)、解約元本額は366,411米ドル (40,217,271円) です。



## ■ 投資先ファンドの概要 (2020年1月1日～2020年12月31日)

スーパーファンド・レッドワンSPC (マスターファンド) レッドワン分別ポートフォリオI クラスジャパン (米ドル) 利益参加シェア

### 【1口当たり純資産価額の推移】

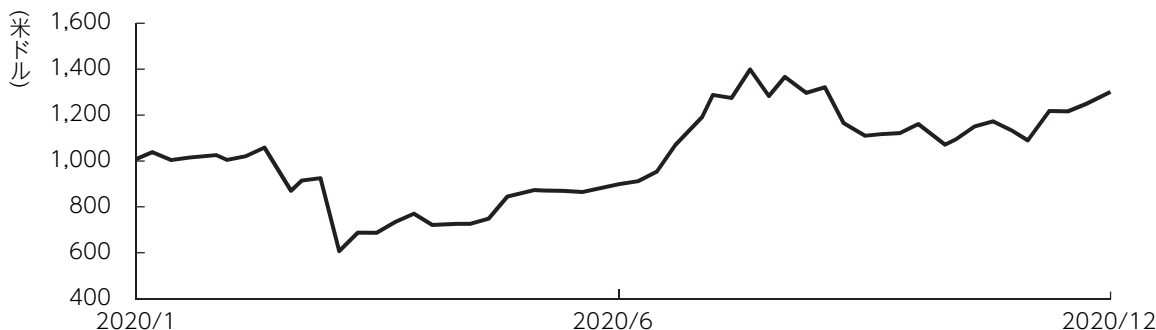


スーパーファンド・レッドワンSPC (マスターファンド) レッドワン分別ポートフォリオI クラスジャパン (ゴールド) 利益参加シェア

### 【1口当たり純資産価額の推移】



【1口当たり純資産価額の推移】



【費用の明細】 (2020年1月1日～2020年12月31日)

項目	項目の概要	
管理報酬	クラスジャパン (米ドル) 利益参加シェア、クラスジャパン (ゴールド) 利益参加シェア及びクラスジャパン (シルバー) 利益参加シェアの各純資産価額の年率2.00%	
成功報酬	クラスジャパン (米ドル) 利益参加シェア、クラスジャパン (ゴールド) 利益参加シェア及びクラスジャパン (シルバー) 利益参加シェアの純資産価額の増加額のうち毎月20% (金銀価格の上昇のみに起因する価額増加を排除したハイウォーターマーク方式を適用)	
販売会社報酬	販売会社が申込みを取り扱った受益証券の純資産価額の年率1.8%	
事務管理報酬	事務管理報酬	マスターファンドの純資産総額が、 0米ドル～5,000万米ドルの場合：純資産総額の0.06% (年率)、 5,000万米ドル超～1億米ドルの場合：純資産総額の0.035% (年率) 1億米ドル超の場合：純資産総額の0.01% (年率) (但し、最低額は年間27,500米ドル)
	年次報告書及び監査手配報酬	年間2,000米ドル
	主たる事務所の提供報酬	年間1,400米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)
	登録事務所の提供報酬	年間6,000米ドル (事務管理会社の関連会社に支払われる)
その他の費用(当期)	監査費用、保管費用、その他信託事務の処理に要する諸費用 0.40%	

(注) 各報酬については、目論見書に定められている料率又は金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、上記期間のその他の費用の金額を投資先ファンドの上記期間末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

【保有銘柄情報】、【資産別配分】、【国別配分】及び【通貨別配分】については、マスターファンドが、世界の主要先物市場における先物を中心に運用しており、オン・バランス資産のほとんどは証拠金であり、その配分は随時変動していることから、一定の時点におけるこれらの情報を開示することに大きな意味がないため、開示しておりません。

(2020年12月31日現在)